

ミステリー小説のなかに 考古学が登場する件

※展示は一部小説の「ネタバレ」を含みます。ご了承ください。

主催：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援：(公財)由良大和古代文化研究協会

2024. 12. 14 sat ~ 2025. 1. 19 sun



考古学が登場する小説：

アガサ・クリステイー『メソポタミアの殺人』(探偵エルキュール・ポアロシリーズ) クリス・アーサー・コナン・ドイル『バスカヴィル家の犬』(シャーロック・ホームズシリーズ) 創元推理文庫 アーサー・コナン・ドイル『高名な依頼人』『シャーロック・ホームズの事件簿』(シャーロック・ホームズシリーズ) 創元推理文庫 秋月達郎『奈良橿原殺人物語』SOX NOVELS 池澤夏樹『キトラ・ボックス』角川文庫 内田康夫『明日香の皇子』講談社文庫 内田康夫『箸墓幻想』(浅見光彦シリーズ) 角川文庫 仁木英之『つちくれさん』朝日新聞出版 万城目学『鹿葉翡翠』中公文庫 松本清張『内海の輪』光文社文庫 春文庫 松本清張『石の骨』『甕壺』『或る「小倉日記」面舞踏会』角川文庫 和久峻三『大事件』(赤かぶ検事シリーズ) 光文社文庫 和路鬼の雪隠殺人 伝『新潮文庫 横溝正史』仮



左上：重要文化財三角縁神人龍虎鏡 黒塚古墳(文化庁蔵・当館保管) 左下：翡翠製二連勾玉/澤ノ坊2号墳(当館蔵) 右下：幾何学文壺/イラン(江上コレクション・奈良県蔵)

特別陳列

ミステリー小説の中に考古学が登場する件

小説のなかでも事件やトリック、謎解きが題材となるミステリー。松本清張、アガサ・クリスティー、コナン・ドイルといった有名作家や、近年の作家によるミステリー小説にも、しばしば考古学が登場し、時には物語における重要な役割を担います。本展覧会では、広くポップ・カルチャーに登場する考古学について概観し、ミステリー小説に取り上げられた考古学関連の資料やパネルを展示します。



円筒印章
シリア (江上コレクション)
(奈良県蔵)



石釧ほか石製品
櫛山古墳
(当館蔵)



平螺鈿背円鏡
正倉院宝物復元模造品
(当館蔵)

同時開催

講演会

無料・申込不要

日時：2025年1月12日(日) (開場 12:00)

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂

13:00 ~ 13:30 「展示のみどころ」
伊東 菜々子 (当館)

13:30 ~ 15:00 「ミステリー小説と
考古学に関する論文を書いたら
展示化して講演会を頼まれた件」
絹島 歩 (当研究所)

列品解説

観覧券が必要・申込不要

日時：

- ① 2024年12月21日(土)
- ② 2025年1月11日(土)
- ③ 2025年1月18日(土)

各日 14:00 ~ (30分程度)

会場：当館 特別展示室

特別陳列

「東南アジアの洞窟遺跡」
2024年12月14日(土) ~ 2025年3月16日(日)

開館時間 9:00~17:00(最終入館16:30)

休館日 月曜日、年末年始(12月28日(土)~1月4日(土))、1月14日(火) ※1月13日(月・祝)は開館

入館料 大人400円(350円) / 高校・大学生300円(250円) / 小・中学生200円(150円) ※ ()内は20名以上の団体料金

無料となる場合：65歳以上、小学生未満、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい保健福祉手帳をお持ちの方と付き添い人、県内の小・中・高・特別支援学校生が教員の引率で入館する場合の生徒・教員、土曜日に入館する県内の小・中・高・特別支援学校生。(※それぞれ証明するものをご提示下さい) 詳しくはホームページをご覧ください。

■最寄り駅：[近鉄橿原線《畷傍御陵前駅 Unebigoryomae sta.B41》
…西出口から西へ徒歩約5分]
[近鉄南大阪線《橿原神宮前駅 Kashiharajingu-mae sta.K42・B42》
…中央出口から北へ徒歩約15分]

■駐車場：(約40台分)あり



奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

〒634-0065 奈良県橿原市畷傍町50-2 TEL (0744)24-1185 FAX (0744)24-1355
URL <http://www.kashikoken.jp/museum/> 上のQRコードからもホームページにアクセスできます。

次回展示のお知らせ

特別陳列 「二上山にはじまりを求めて—旧石器時代を知る、探る、考える—」

2025年2月1日(土) ~ 3月16日(日)